

2026年7月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社バルニバービ

証券コード 3418



BALNIBARBI

1. 企業理念・会社概要 → P.3～
2. 2026年7月期 第1四半期 決算サマリー → P.8～
3. 2026年7月期 出店トピックス → P.14～
4. 成長戦略 → P.16～
5. 今後の出店予定 → P.20～
6. 株主還元 → P.23～

VISION

食から始まる日本創再生 多くの人々が楽しく、豊かに暮らせる世界を目指して

「人々のライフスタイルに溶け込む地域に根ざした店づくり」をテーマに、その土地や場所でしかできない何ものかを創出することで、人が訪れ、時間を過ごしていただき、その地域に愛着をもち、さらには移り住み、地域とのコミュニケーションの中で『（再び）人が住みたくなる街づくり』を目指します。

WAY

食を通して「なりたい自分」になる

飲食業はお客様の心も満たす空間を創る仕事です。マニュアルに依存しない自由な環境で、一人ひとりが思う存分「個性」を発揮することで、食を通して「なりたい自分」を目指します。



私たちが目指す地方創生は、地域の皆様、スタッフ、その他のステークホルダーの皆様と、その街に本当に必要と思えることを時間をかけて考えていくことで、住みたいと思える街をつくること。その積み重ねに私たちが目指す「日本創再生」があると考えます。

マテリアリティとしての地方創生

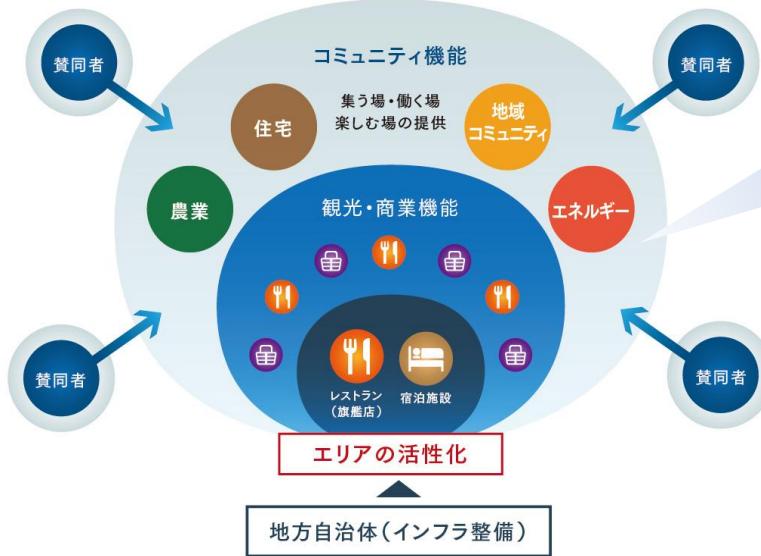
当社の最大のマテリアリティは「食を起点とした社会課題への取り組み」です。中でも「地方創生への取り組み強化」を最重要課題と捉えています。



- 食を起点とした社会課題への取り組み
- 地方創生への取り組み
- 従業員とのエンゲージメント強化
- 気候変動への対応
- 資源循環の推進
- リスク管理の強化

VISION

食から始まる日本創再生



食から始まる日本創再生を目指して

地方創生の開発エリア数は10年で7カ所以上を目指します。そして、バルニバービが推進する地方創生を日本全国に展開していくことで「食から始まる日本創再生」を実現していきます。

初期段階での開発はレストラン旗艦店と宿泊施設の出店を行います。その後、地域の特性をみながら飲食店や物販・レジャー施設等の店舗・施設を出店することでエリアの活性化を目指します。

まずは淡路島をモデルケースとして地域のコミュニティ機能を強化していきます。住居の提供、農業支援や自立型エネルギー・システムの導入等により、最低限のライフラインを確保した地産地消・自給自足のビレッジ型エリア開発を推進し、機能開発したサービスや仕組みを徐々に他のエリアに展開してまいります。



レストラン



レストラン以外の施設、店舗（レジャー施設、売店等）

会 社 名	株式会社バルニバービ	
設 立	1991年9月	
代 表 者	代表取締役会長 佐藤 裕久・ 代表取締役社長 安藤 文豪	
所 在 地	本店 大阪市西区南堀江 1-14-26 東京本部 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-X 14F 大阪本部 大阪市西区南堀江 1-14-26 中澤唐木ビル6F	
資 本 金	16億800万円	2025年10月末現在
経 営 理 念	「食から始まる日本創再生」多くの人々が楽しく、豊かに暮らせる世界を創造する	
従 業 員 数	連結：社員数682名	2025年10月末現在
グ ル 一 プ 店 舗 数	102店舗	2025年10月末現在
グ ル 一 プ 会 社 (連結子会社 13社) (非連結子会社 2社)	<p>(店舗運営子会社)</p> <p>株式会社バルニバービインターフェイス 株式会社to-Compass バルニバービ・スピリット&カンパニー株式会社 株式会社バルニバービコンシスタンス 株式会社バルニバービウィルワークス 株式会社バルニバービオーガスト 株式会社BAR Backs Brand 株式会社PIATTIBELLA 株式会社ヒトハナサカス 株式会社トウキョウイット 株式会社ジョイパーク (非連結子会社) 株式会社OPAS (非連結子会社)</p> <p>(事業子会社)</p> <p>株式会社アワエナジー 株式会社工ナビードウー工 株式会社BALNIBARBI Roots Creation</p>	
	2025年10月末現在	

レストラン事業 — 事業の収益構造

バッドロケーション戦略に基づきバッドロケーションエリア、不動産デベロッパーエリア、行政・公共機関エリア、大学・その他エリア及びその他の事業における従来のレストラン事業として区分すべき店舗運営に付随する事業

直営店舗

■ロケーション

恵まれた周辺環境を店舗デザインに統合的に取り込むことで、気持ちのいい空間を創造します。

■店舗の特徴

特定のメニューへの依存度が低く、様々な用途に対応できるプランニングにより、経済環境の変化に強い安定した店舗づくりを行っております。



イーコマース (EC) サイト

■オンラインの販売チャネル

“食卓に彩りを添える特別な一品”をテーマに、ECサイトを開設。総料理長監修のミールキットやオリジナルスイーツなどを販売しております。

■オフラインとのシナジー創出

店舗が開発したオリジナルのミールキットなどを積極的にオンメニューし、オンラインオフラインでの相乗効果を狙います。



その他

■コンサルティング

企業、行政機関などに対して、地域ブランド振興、カフェやレストランの企画・開発等のコンサルティングを行っております。

■飲食事業での独立を目指す方のプラットフォーム

パーソナリティーを尊重した飲食店経営者の輩出プラットフォームを設立。単なるのれん分けではなく、当社の持つリソースを活用した店舗展開が可能となっております。



エステートビルドアップ事業 — 事業の収益構造

当社所有の販売用土地及び建物等の不動産又は権利における出店、賃貸、売買、コンサルティング、株式投資等に付随する事業

レストラン・宿泊

■ 食をベースに統合的なエリア開発

バッドロケーション戦略における出店で培ったノウハウや知見を元に、食をベースに統合的なエリア開発を推進。淡路島西海岸においては2019年春の地産地消を味わうレストラン開業を皮切りに、滞在することで美しい自然や島の暮らしを体感する宿泊施設、広い空と海に囲まれた場所でBBQを楽しむアウトドアパーク、淡路素材を使った中華そば店、地場水産会社との共同運営の回転寿司店を5ヘクタールの敷地にてファンドを活用して街全体のエリア開発を進行中。

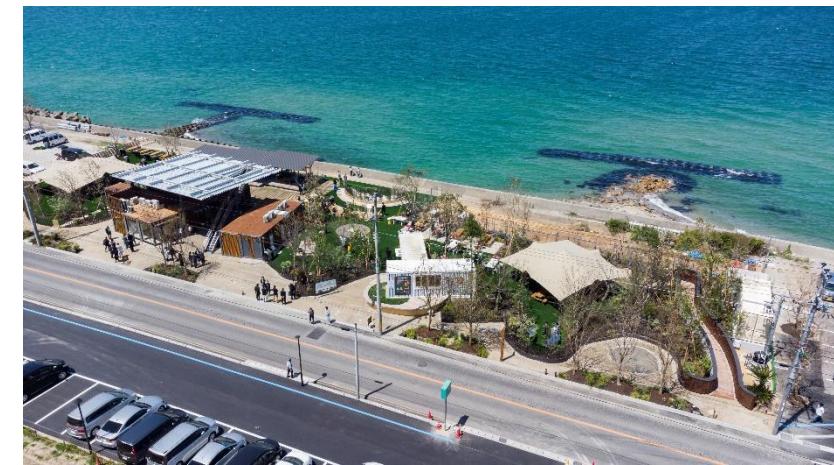


不動産の賃貸借・売却等

■ エリア活性・不動産開発を目的としたパートナーシップ

不動産価値向上を目的としたアライアンスによるファイナンススキームとして、不動産SPC（特別目的会社）による開発を行う。

淡路島西海岸においては、淡路島のエリア不動産開発を目的に、開発資金拠出を企図しNECキャピタルソリューション株式会社と不動産SPCを設立（現在はSPCをグループ会社化しております）、島根県出雲市ではSBIグループとの連携によりSPCを活用した開発を展開中。



2026年7月期 第1四半期 決算サマリー

2026年7月期 第1四半期業績は、売上高 3,763百万円、営業利益155百万円となりました。

売上高（前年比 106.3%）

- ・レストラン事業における新規出店により売上が増加
(EB事業における販売用不動産売却は当第1四半期、前第1四半期共にございません)

営業利益（前年比 124.3%）

- ・淡路島での株主総会開催費用の増加や、新規出店に向けた人材採用や育成のための人事費増加により、計画より費用は増加したものの、レストラン事業のセグメント利益は90百万円で着地（前年比114.4%）
- ・EB事業も順調に既存店の売上が増加し、セグメント利益は65百万円となる（前年比141.1%）

	2025年7月期		2026年7月期			
	1Q実績		1Q実績		前年比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	3,539	100.0%	3,763	100.0%	224	106.3%
営業利益	125	3.5%	155	4.1%	30	124.3%
経常利益	122	3.5%	145	3.9%	23	118.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	79	2.2%	109	2.9%	30	138.0%

(単位：百万円)

	2025年7月		2026年7月期			増減要因	
	1Q実績		1Q実績		前年比		
	金額	百分比	金額	百分比	増減額	増減率	
売上高	3,539	100.0%	3,763	100.0%	224	106.3%	
レストラン事業	3,059	86.4%	3,261	86.7%	202	106.6%	
パッドラケーション	867	24.5%	912	24.2%	44	105.1%	
不動産デベロッパー	1,478	41.8%	1,602	42.6%	124	108.4%	引き続き不動産デベロッパーからの引き合いが強い
行政・公共機関	581	16.4%	591	15.7%	9	101.7%	
大学・その他	61	1.7%	61	1.6%	0	99.2%	
その他	70	2.0%	93	2.5%	23	133.9%	
EB事業	480	13.6%	502	13.3%	22	104.6%	
売上原価	904	25.6%	966	25.7%	61	106.8%	食材の値上りはあったものの原価率は前年度並み
売上総利益	2,634	74.4%	2,797	74.3%	162	106.2%	
販売費及び一般管理費	2,509	70.9%	2,641	70.2%	131	105.3%	
人件費	1,040	29.4%	1,119	29.7%	78	107.6%	新店出店に向けた人材採用や人材育成のため人件費増
地代家賃	337	9.5%	316	8.4%	△ 21	93.8%	
減価償却費	114	3.2%	123	3.3%	8	107.3%	新店出店の影響
水道光熱費	185	5.2%	180	4.8%	△ 5	97.3%	
その他	832	23.5%	903	24.0%	71	108.5%	
営業利益	125	3.5%	155	4.1%	30	124.3%	
営業外収益	9	0.3%	10	0.3%	0	102.0%	
営業外費用	13	0.4%	20	0.5%	7	158.1%	
経常利益	122	3.5%	145	3.9%	23	118.9%	
特別損益	△ 1	—	0	0.0%	△ 1	—	
税金等調整前四半期利益	121	3.4%	145	3.9%	24	120.0%	
親会社株主に帰属する当期純利益	79	2.2%	109	2.9%	△ 30	138.0%	

貸借対照表 前期末比較

(単位：百万円)

	2025年7月		2026年7月期				主な増減要因	
	期末実績		1Q実績		前年比			
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率		
流動資産	7,065	52.2%	6,958	51.8%	△ 106	98.5%		
現金及び預金	3,394	25.1%	3,512	26.2%	118	103.5%		
販売用不動産	2,217	16.4%	2,199	16.4%	△ 17	99.2%		
固定資産	6,458	47.7%	6,459	48.1%	0	100.0%		
有形固定資産	4,871	36.0%	4,883	36.4%	11	100.2%		
無形固定資産	340	2.5%	333	2.5%	△ 7	97.8%		
投資その他の資産	1,245	9.2%	1,242	9.2%	△ 3	99.7%		
繰延資産合計	13	0.1%	11	0.1%	△ 1	88.5%		
資産合計	13,536	100.0%	13,429	100.0%	△ 107	99.2%		
流動負債	3,146	23.2%	3,213	23.9%	67	102.1%	短期借入金増加、未払法人税・未払消費税の減少	
固定負債	4,318	31.9%	4,087	30.4%	△ 230	94.7%	返済による長期借入金の減少	
負債合計	7,465	55.1%	7,301	54.5%	△ 163	97.8%		
資本金	1,608	11.9%	1,608	12.0%	0	100.0%		
資本剰余金	1,956	14.5%	1,956	14.6%	0	100.0%		
利益剰余金	2,551	18.8%	2,607	19.4%	55	102.2%		
自己株式	△ 172	—	△ 172	—	0	100.0%		
非支配株主持分	128	0.9%	128	1.0%	0	100.6%		
純資産合計	6,071	44.9%	6,128	45.6%	56	100.9%		
負債・純資産合計	13,536	100.0%	13,429	100.0%	△ 107	99.2%		
有利子負債	5,098	37.7%	5,098	38.0%	0	100.0%		

2026年7月期 第1四半期出退店

出店・退店はございません。

(単位: 店舗数)

	2022年 7月末	2023年 1月末	2023年 7月末	2024年7月期		2024年 7月末	2025年7月期		2025年 7月末	2026年7月期 1Q		2026年 10月末
				出店	退店		出店	退店		出店	退店	
パッドラケーション	30	29	29	—	—	26	2	1	27	—	—	27
関東地区	24	20	20	—	—	17	1	—	18	—	—	18
関西地区	7	7	7	—	—	7	1	1	7	—	—	7
その他地域	2	2	2	—	—	2	—	—	2	—	—	2
不動産デベロッパー	34	34	33	2	—	35	3	—	38	—	—	38
関東地区	19	19	19	—	—	18	2	—	20	—	—	20
関西地区	13	13	12	2	—	15	—	—	15	—	—	15
その他地域	2	2	2	—	—	2	1	—	3	—	—	3
行政・公共機関	12	12	12	2	—	14	—	—	14	—	—	14
関東地区	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関西地区	11	11	11	2	—	13	—	—	13	—	—	13
その他地域	1	1	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1
大学・その他	6	7	5	—	2	4	3	3	4	—	—	4
関東地区	1	1	1	—	—	1	—	—	1	—	—	1
関西地区	3	3	3	—	—	3	—	—	3	—	—	3
その他地域	2	3	1	—	2	—	3	3	—	—	—	—
EB事業	14	10	17	—	—	17	2	—	19	—	—	19
関東地区	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
関西地区	11	10	12	1	—	13	2	—	15	—	—	15
その他地域	—	—	5	—	1	4	—	—	4	—	—	4
合計	96	92	96	4	2	96	10	4	102	—	—	102

2026年7月期の通期連結業績予想は、売上高15,095百万円、営業利益740百万円

●既存店の業績推移（売上は2025年7月期の通期レベル、収益性も2025年7月期の通期レベルを目安としております）、2025年7月期に出店した店舗の通年寄与及び出店決定並びに検討案件の状況をもとに策定。

■レストラン事業

- ・レストランのトータル品質を維持向上させつつ、新店の出店やインバウンド対応、新たな業態開発など、運営子会社単位で新たな取り組みを実施する。

■EB事業

- ・南あわじレストランを皮切りに、淡路島全体を面でとらえたエリア開発を推進する。「Frogs FARM ATMOSPHERE」についてはSAKIAの地域に根付いた活動や他社との協業による新たな開発を行い、エリアの付加価値を増大させていく取り組みを実施。
- ・出雲「WINDY FARM ATMOSPHERE」については2次開発を進めていくと共に、新たなエリアについて企画を推進していく。

(単位：百万円)

	2025年7月				2026年7月期							
	1Q実績		前期実績		1Q実績				通期予想			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	3,539	100.0%	14,336	100.0%	3,763	100.0%	224	106.3%	15,095	100.0%	758	105.3%
営業利益	125	3.5%	638	4.5%	155	4.1%	30	124.3%	740	4.9%	101	115.9%
経常利益	122	3.5%	621	4.3%	145	3.9%	23	118.9%	683	4.5%	61	109.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	79	2.2%	428	3.0%	109	2.9%	30	138.0%	443	2.9%	15	103.5%

2026年7月期
第1四半期トピックス

◆IZUMO HOTEL THE CLIFFが、2年連続の「1ミシュランキー」を獲得

SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区 代表取締役：北尾 吉孝）、株式会社島根銀行（本店：島根県松江市 取締役頭取：長岡 一彦）等と連携して、島根県内における土地開発・建物建設による地方創生及び地域の経済活性化に向けた事業の一環として、島根県出雲市西海岸にあるホテル・レストラン・パーキングエリアからなる複合施設「WINDY FARM ATMOSPHERE」の企画・運営を推進してまいりました。この度、その施設の一つである「IZUMO HOTEL THE CLIFF」が、2025年10月8日に発表された日本の個性あふれる魅力的な宿泊施設を「3つの鍵」で評価する「日本のミシュランキーホテルセレクション2025」の発表において、ロケーション、コンセプト、ホスピタリティ全てにおいて多様性に富む特別な滞在を提供するホテルとして、前年に続き「1ミシュランキー」を獲得いたしましたのでお知らせいたします。

●施設概要

店舗名：IZUMO HOTEL THE CLIFF

所在地：島根県出雲市多伎町久村1870
B1F

開業日：2023年5月1日



成長戦略

～中期経営計画 イノベーティブシナジー2030～

イノベーティブシナジー戦略

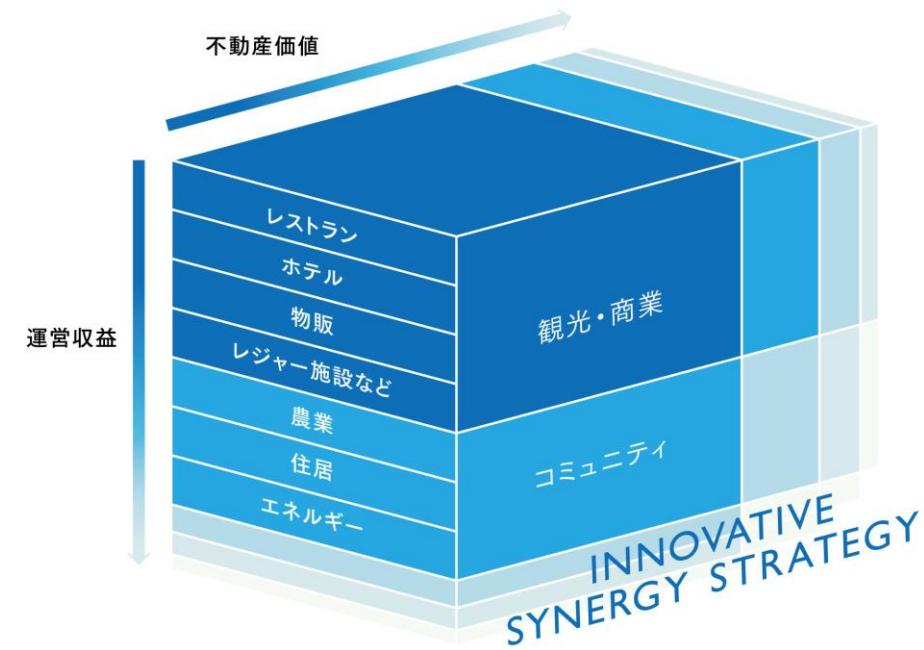
「レストラン事業」における「バッドロケーション戦略」での出店で培ったノウハウや知見を基に、**新たに食による地方創生を軸とした総合的なエリア開発を担うイノベーティブシナジー戦略**を基本戦略とします。

イノベーティブシナジー戦略とは、レストラン事業とエステートビルドアップ事業（EB事業）を融合させ、レストランを中心としつつ、レストラン以外の複合的な店舗や機能を一体的に開発することでエリアの価値を高めていく戦略です。私たちが考えるエリア活性化において食が持つ力は必要不可欠であり、レストラン事業における店舗開発、デザイン、オペレーションの力と、エステートビルドアップ事業が融合する事によって、新たなシナジーが生まれ、開発エリアの不動産価値を高める事に繋がります。

日本全国を対象に人々が幸せや楽しさ、そして豊かさを感じられる最高のロケーションを発掘し、飲食店や宿泊施設、レジャー、教育や地域交流が育まれる場づくりを行い、不動産価値向上によって発展する多様なキャピタルゲインとインカムゲインを取り込むことで新たな成長を目指します。



エステートビルドアップ事業



中期経営計画— イノベーティブシナジー2030（2026年7月期～2030年7月期）

当社グループは、2026年7月期から2030年7月期の中期経営計画「イノベーティブシナジー2030」を策定いたしました。なお、当社グループは今後も経営環境の変化に柔軟に対応するため、原則として毎期改定を行うローリング方式の5カ年の中期経営計画として策定しております。また、中期経営計画「イノベーティブシナジー2029」からは、当社が目指す10年後の目標値を継続的に開示しております。

レストラン事業 (パッドロケーション戦略)

- 出店エリアを厳選した出店（年間6～8店舗）



エステートビルトアップ（EB）事業 (パッドロケーションデベロッパー戦略)

- 淡路島でのエリア開発とコミュニティ機能を強化
- 新たなエリア開発 2カ所
- 出雲2次開発

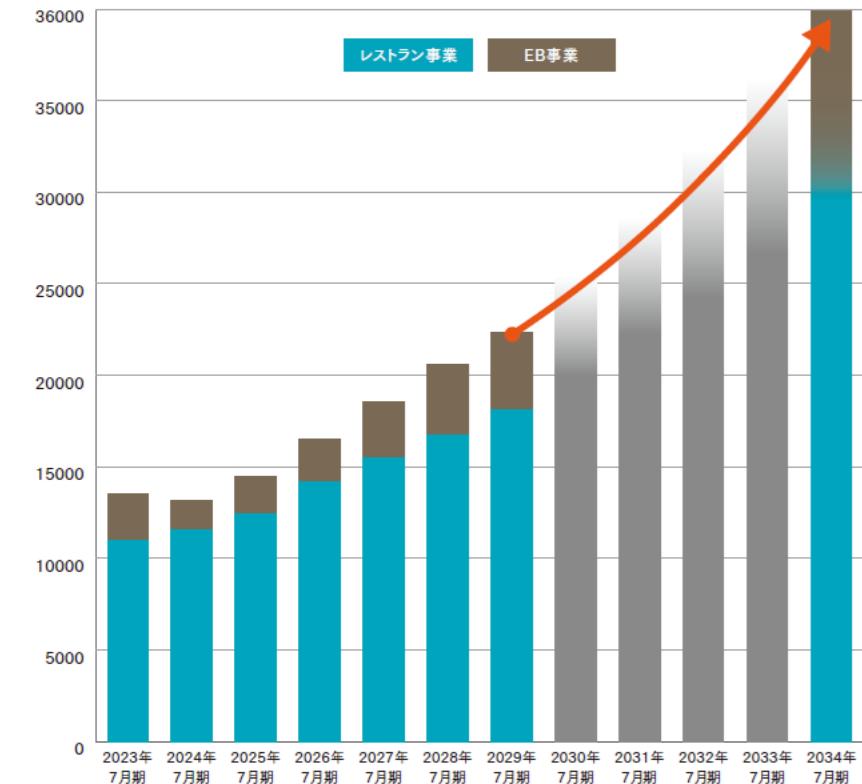


【長期経営目標】

「食で人の流れを変え地域を活性化する企業」として、2034年7月期に売上高360億円、営業利益36億円（営業利益率10%）を目指します。

長期売上目標

単位:百万円



売上・利益計画

2025年7月期は既存レストラン事業の高収益化とエステートビルドアップ事業における新エリア開発準備、両事業での新規出店への取り組みに注力いたしました。レストラン事業におきましては、新店出店での資材や人件費の高騰などによる建築コストの高止まり、金利上昇の影響が大きくなっています。2026年7月期からは比較的投資コストが小さく回収が早い居抜き物件を活用した中規模店を中心に6～8店舗の出店を行っていきます。エステートビルドアップ事業については新規エリアで2カ所開業（愛媛県伊予市・その他）、既存エリア（出雲・南あわじ）での追加投資を見込んで計画を策定いたしました。

イノベーティブシナジー2030

単位：百万円

	2025年7月期	2026年7月期	2027年7月期	2028年7月期	2029年7月期	2030年7月期
	実績	計画	計画	計画	計画	計画
売上高	14,336	15,095	16,602	17,924	20,086	22,383
レストラン事業	12,529	13,177	13,962	15,086	16,324	17,777
既存店	12,529	12,435	12,285	12,135	11,985	11,985
新規店		742	1,677	2,951	4,339	5,792
EB事業	1,613	1,985	2,707	2,904	3,830	4,673
淡路島（北西部）	1,079	1,121	1,140	1,151	1,151	1,151
新規エリア・不動産	534	864	1,567	1,754	2,679	3,522
営業利益	638	740	1,057	1,225	1,414	1,647
営業利益率	4.5%	4.9%	6.4%	6.8%	7.0%	7.4%
経常利益	621	683	996	1,158	1,343	1,570
経常利益率	4.3%	4.5%	6.0%	6.5%	6.7%	7.0%

※レストラン事業の売上は、レストラン事業のセグメント売上から本部の売上を控除しております。

5

今後の出店予定

◆レストラン事業における出店

2026年

3月

LA & LE [東京都港区]

「表参道Grid Tower」における新規出店

4月

相模大野クロスPJ[神奈川県相模原市]

相模原市最大級の再開発プロジェクト

6月

中川運河再生計画プロジェクト[愛知県名古屋市]

「中川運河再生計画」における新規出店

2028年

3月

西武鉄道プロジェクト[西武鉄道 池袋線、新宿線、西武秩父線]

西武鉄道との協働によるレストラン列車における新規出店

※2025年12月16日現在開示しているプロジェクトのみ記載しております。

◆EB事業における出店

2026年

春

一棟貸コテージ [兵庫県淡路市]

食を通じた地方創再生プロジェクト「Frogs FARM」

7月

温浴施設 [兵庫県淡路市]

食を通じた地方創再生プロジェクト「Frogs FARM」

11月

南あわじ阿万ホテルプロジェクト[兵庫県南あわじ市]

南あわじ市における新規出店

出雲第二期開発 全室オーシャンビューのリゾートホテル出店[島根県出雲市]

SBIグループとの協業「WINDY FARM」

2028年

11月

伊予プロジェクト [愛媛県伊予市]

愛媛県伊予市森・三秋エリアにおける開発

※2025年12月16日現在開示しているプロジェクトのみ記載しております。

6

株主還元

配当について

●配当について

2026年7月期につきましては、中間配当を1株当たり2.5円、期末配当を1株当たり5円の普通配当を予定しています。

●株主優待制度について

■対象

毎年7月末日時点で単元株以上をお持ちの株主様

■導入時期

2023年7月末日から

■株主優待内容

①すべての株主さま

保有株式数	ご優待金額
100株	3,000円電子チケット
200株	6,000円　〃
300株	9,000円　〃
400株	12,000円　〃
500株	15,000円　〃
600株	18,000円　〃
700株	21,000円　〃
800株	24,000円　〃
900株	27,000円　〃
1,000株	30,000円　〃

②長期継続保有の株主さま <応募式抽選会>

当社の定めた基準日（毎年7月末日）から起算して権利確定日まで、株主名簿に同一株主番号かつ100株以上を継続して記載された株主様を対象に、年4回の応募式抽選会を開催いたします。

権利確定日	開催月（予定）	当選連絡（予定）
10月末日	11月	12月
1月末日	2月	3月
4月末日	5月	6月
7月末日	8月	9月

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料（業績見通しを含む）は現時点で入手可能な信頼できる情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいて当社が作成したものですが、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なることが起こります。

IRに関するお問い合わせ

株式会社バルニバービ 経営管理部

TEL:06-4390-6544
Email:ir@garb.co.jp



BALNIBARBI